

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 5 月 11 日

所属	人間社会学部	職名	専任講師	氏 名	丸浜 千紘
研究課題	学生の大学生生活の質的向上とライフ・キャリアイメージの形成支援 ～ピア・サポート活動を通じて～				
研究キーワード	子育て支援 ピア・サポート ライフ&ワークバランス キャリア教育	当年度計画に対する達成度		2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた	
関連するSDGs項目	3. すべての人に健康と福祉を	4. 質の高い教育をみんなに	5. ジェンダー平等を実現しよう	該当なし	

1. 研究成果の概要

コロナ禍対応の数年間を経て、学生の大学生生活に対する不安の増大、精神的健康度の低下などへの懸念が強まっている。こうした問題へのアプローチ方法としてピア・サポートに注目している。ピア・サポートとは、援助者/非援助者としての立場にはっきりと境界線を引くのではなく、同じ立場にある者同士が互いに支え合うことで問題の予防を図る取り組みである。大学生の学生生活における諸問題へのアプローチとしても有効であるとの報告も増えている。それを踏まえ、本学におけるピア・サポートの可能性と効果について検討を試みる。ゼミ学生を中心としてピア・サポートを担う学生グループを組織し、ピアサポートを提供できる場の企画立案と実施に取り組んだ。

1. 学生のピアサポートグループの組織化

ゼミ学生を中心としてピアサポートグループを組織し、1年生の研究基礎クラスに配置される2年生SA同士の交流会を実施した。また、4月のオリエンテーション期間には1年生と上級生をつなぐための試みとして新入生交流会を企画・実施した。入れ子状の構造として、企画する側の学生もまたサポート役割を担ったことが自己の成長につながっていくという循環も狙ったものである。

2. サマーチルドレンプロジェクト

2022 年度の「子どもと家族の心理学」で学生からプレゼンされた企画案を、2023 年度よりプロジェクト化して実施している。夏休み期間である 7 月～8 月中の 4 日間、真間小学校、市川小学校、国府台小学校の小学生延べ 130 名を受け入れ、居場所を作るという企画である。ゼミ学生が運営にあたり、学内でワンデースタッフも募って総勢 50 名の学生が実施を担った。

大学生と小学生との世代間交流という点で効果が高く、双方の満足度が非常に高くなった。さらに、学生が直接保護者とやりとりをし、受け入れ・預かり・送りを担うことで、子育て世代との交流の機会となるという発見も得られた。学生たちがふだんは交流することのない世代とのコミュニケーションを通じて新しい学びを得られたことも成果であった。運営・企画にあたった学生の自己有用感の高まりも期待され、学生の学びの場として大きく育てていきたい。今後も継続して取り組み、10 年後 20 年後の自分たちの未来をイメージできる学生にとっての学びの場としていくことを目的として動かしていく予定である。

3. みらいをデザインプロジェクト

2015 年度より、スリール株式会社と提携して学内でキャリア教育プロジェクトを実施している。スリール株式会社は 20 年にわたってキャリア教育や仕事と子育ての両立を主要事業として自治体や企業に様々なプログラムを提供している企業である。実施しているキャリア教育プロジェクト「ワークライフインターン」は、学生が子育て

世代と交流を持つことを通じて自分の10年先をイメージしていくために、どんな働き方をしたいのか、どんな生き方をしたいのか、自分について考え学ぶ機会を提供するものである。20年にわたってキャリア教育や仕事と子育ての両立を主要事業として自治体や企業に様々なプログラムを提供している若手の社会人や子育てをしているママ社員をゲストとし、仕事と子育てのリアルについて直接話を聞くことで、将来の長期的なキャリアを考える取り組みである。子どもとの触れ合いも実際に体験し、自分のなりたい姿を描いていった。

2024年度は、2023年度にワークライフインターンに参加した学生を運営メンバーとし、提供されるプログラムに参加するだけでなくプログラム実施の主体として学生が動くプロジェクトとして実施した。運営メンバーの学生が、自分達が将来のイメージをはっきりと描くために何が必要なのか、どういう場をつくればいいのかを考え、プログラムの企画立案につなげることができたことは大きな成長であった。

2. 著書・論文・学会発表等

(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

【著書・論文(査読なし)】

【学会発表等】

3. 主な経費

- ・SA交流会・新入生交流会の企画実施にかかる経費(文房具、プログラム実施当日の菓子類等)
- ・『ワーク&ライフインターン』業務委託費(資料作成代および講師料)
- ・学生の事前事後学習必要経費(文房具など)

4. その他の特筆すべき事項(表彰、研究資金の受入状況等)